

運送業界の健康支援を生きがいに

⑩ 巨体とSAS、そして大事故

8月25日未明、東名高速道路でツアーバスが走行中の大型トラックに追突し、27人もの重軽傷者が出た大事故は記憶に新しいところですが。

報道によると、事故を起こした31歳のバスドライバーは身長約185センチ、体重約135キロ(BMI38)の巨体。そして「眠かった」と答えています。事故原因の詳細はいまだ不明ですが、「ひよっ」として重症の睡眠時無呼吸症候群(SAS)だった?と、疑う余地は大いにあります。

■肥満のドライバーさん、気をつけて

BMI(体格指数)は肥満度を表す指標で、体重(キログラム)÷身長(メートル)÷身長

(メートル)で計算します。BMI22は病気になるににくい理想的な体格で、25以上が肥満、30以上は病気を招きやすい肥満と言われています。

当法人では、SASスクリーニング検査受診者を対象に「SAS判定とBMIの関連」を検査結果に基づき分析しています。が、BMI25以下の人のSAS確率が15%であるのに対し、BMI30以上になると、なんと70%へと急増します。

しかも、そのうちの半数が重症のSASという、「肥満とSASの関係」を顕著に表わす結果となります。そして詳しく分

析しますと、極端に太っていてしかも若い人の重症度は、さらに高いことも分かっています。

さて、事故惹起の本件ドライバーさんの場合はどうでしょうか。これらの分析・統計がびったりと当てはまると思われませんか。今後、多くの検査や調査が彼を待ち受け、事故原因が究明されていくでしょうが、「統計が語ること」も否めません。

SASで肥満のドライバーさんは、心筋梗塞・脳梗塞のリスクも高くなり、健康起因事故を誘発しかねません。早急にSASや生活習慣病の治療を開始するとともに、ダイエットにも努めなければなりません。もう時間の余裕はありませんよ。「緊急事態」なのです。

OCHISが作成受託した「トラック運送事業者のための健康起因事故防止マニュアル」(発刊II全ト協)の29ページには、トラックドライバーさんの実例を紹介しながら、SASと肥満の関係を説明しています。

(次回は10月13日号に掲載)



《全日本トラック協会 SAS 検査受託機関》
NPO 法人 ヘルスケアネットワーク (OCHIS)

副理事長 作本 貞子

「安全と健康を推進する協議会(両輪会)」代表

TEL : 06-6965-3666

FAX : 06-6965-5261

東京オフィス TEL : 03-3295-1271

E-mail sakumoto@ochis-net.com

HP <http://sas.ochis-net.jp/>